

第29回 臨床研究推進啓発セミナー

慶應義塾大学病院臨床研究推進センターでは、安全で適正な臨床研究・治験の計画策定ならびに実施に必要な基本知識やコア・コンピテンシーのエッセンスを入門者でも習得していただくべく、「臨床研究推進啓発セミナー」を開講しています。

2020年 5月28日(木)

参加費無料

要事前申込

18:00-19:00 Webex LIVE配信にて実施

対象：これから研究を始める若手研究者・研究支援者や大学院生、医師・歯科医師、看護師・薬剤師等のメディカルスタッフ、事務職員などの病院職員、学生
(学外の方も参加できます)

歴史から学ぶ臨床研究の意義

～何のために臨床研究を行うのか～

慶應義塾大学病院 臨床研究推進センター

教育研修部門長 特任准教授

中川 敦夫 先生

米国医学会が出版するJAMA Users' Guide to the Medical Literatureでは、エビデンスの確からしさに関して、その強いものから以下の段階で示されています：
N-of-1のランダム化比較試験(RCT) > RCTの系統的レビューとそのメタ解析 > RCT > 患者の重要アウトカムに関するコホート研究の系統的レビュー > 患者の重要アウトカムに関するコホート研究 > 基礎・生理学的研究 > 非系統的臨床観察（エキスパートの意見など）。このように、エビデンスの確からしさのヒエラルキーの上位に臨床試験が位置されています。

今回のセミナーでは、特にこれから研究を始める若手研究者・研究支援者や大学院生をメインターゲットとして、治療の効果を確かめることを主眼とした臨床研究の理解の第一歩として、RCTを含む臨床研究が歩んできた歴史とその科学的な発展と同時に、負の歴史も事例を振り返りながら「何のために臨床研究を行うのか」について振り返ってみたいと思います。

▶ お申し込みはこちら (<https://forms.gle/KAePDRNjkZ2QPRPL9>)



事前申込フォームよりお申し込みをお願いします。
お申込み頂いたメールアドレス宛に当日の受講案内とWebexの招待メールが届きます。当日は招待メールに記載されたリンクよりWebexへアクセスして頂く形式での受講となります。



お問い合わせ先：臨床研究推進センター教育研修事務局
(mail: keio-edu-tra@adst.keio.ac.jp)

主催：慶應義塾大学病院臨床研究推進センター